

緊急雇用創出事業 –「おでかけタウンマップぎふ」がさらにパワーアップ！！–

「おでかけタウンマップぎふ」は、岐阜県全域の公共施設を中心としたバリアフリー情報をインターネットで公開しているWEBサイトです。

このWEBサイトは、平成8年に岐阜県が制作した、バリアフリーガイドブック（冊子）がベースになっており、現在までに何度もリニューアルやバージョンアップを重ねながら、岐阜県のバリアフリー情報を世界中に発信し続けて13年になります。

制作された当時より今日まで、県内全域にわたってバリアフリー情報を掲載しているガイドは全国でも珍しく、先進的な取り組みで高い評価を受けており全国のバリアフリーマップのお手本にもなってきました。



おでかけタウンマップぎふ
(冊子版)

平成12年頃、インターネットが普及しはじめ、岐阜県のITを活用した

～重度障害者の在宅就労支援事業～「バーチャルメディア工房ぎふ」の在宅ワーカーによって、これは電子化されました。そして、ソフトピアジャパン（ITの中核施設）にある、福祉メディアステーション（障害者ITサポート施設）のサーバーにおいて、いち早くインターネットでの公開が始まりました。

これまでは、地域によってはインターネットがまだ利用できなかったり、長時間利用すると通信費用が高額になった時期にCD-ROMにプレスをして配布したり、障害を持つ利用者のために「WEBアクセシビリティ」にも対応するよう改良しました。そして、情報へのアクセスをしやすくするためにデータベース化をして、岐阜県の持つ県域統合型GISの地図との連携をしました。また「平成の大合併」に対応したり、サーバーを引っ越したりと、さまざまな歴史を積み重ねながら、岐阜県の人だけでなく県を訪れる人々に向けても広くバリアフリー情報を発信してきました。

これにより、皆様の活発な利用と、岐阜県の協力と支援のおかげで、機能やデザイン、使いやすさは向上し順調に運営されてきました。しかし、年月の経過により中身の情報が古くなりましたので、情報を刷新したいと考えていました。

そんな中、平成21年10月より、岐阜県地域福祉国保課の支援により、緊急雇用創出事業の一環として、「おでかけタウンマップぎふ」掲載情報の再調査をすることになりました。

この調査事業は、岐阜県の委託により実施するもので、県内の公共施設を中心としたバリアフリー情報を現地調査し、「おでかけタウンマップぎふ」（<http://www.vm-studio.jp/mapgifu/>）に掲載していきます。また、調査だけでなく雇用を推進するという目的も兼ねており、障がい者の有無に関係なく調査員として多くの方を雇用し調査業務を行います。この取り組みは、障害を持つ当事者の企画により、障害のない方を雇用するという新たな側面も持っており、注目されています。

